

ほっと通信

依田窪老人保健施設「いこい」には、医師、看護師、介護員、理学・作業療法士、管理栄養士、支援相談員と多職種が勤務しています。
このコーナーでは、各職種からいろいろな情報を発信します。

○ 内服薬の管理について ○

看護師 両角 由津希

今回は、内服薬の管理についてお話させていただきます。

年齢を重ねるごとに持病が増え、通院・定期的な内服が必要な場合が多いかと思えます。

持病と上手に付き合っていくためにも、医師から処方された薬を確実に内服することがとても大切です。

老健いこいでは、利用者様の内服薬を看護師・薬剤師が確認させていただいております。

様々な管理方法がありますが、1回配薬・1日配薬・カレンダー管理・薬袋を用いた管理などがあげられます。



利用者様の状態、また、ご自宅の状況、利用者様のご家族様の協力がどこまで得られるかによって、内服薬の配薬方法・管理方法を検討させていただきます。



利用者様に確実に薬を内服していただけるよう、内服薬の種類が多い場合は、粒のシートの薬は、1回分ずつ梱包し直す一包化をする場合があります。

一包化した薬包には、お名前、日付、いつ飲むのか、場合によっては、薬の種類を記載しています。

ご自宅での内服管理をするなかで、薬の数が多くて大変！何の薬を飲んでいるのかわからない！薬飲んだっけ？とお悩みの方には、ぜひお勧めです。

ご利用中の調剤薬局に依頼、または、主治医に依頼し、処方箋に追記してもらおうと一包化した状態で調剤をしていただくことができます。

内服でお悩みの方の参考になれば幸いです。

様々な生活環境で在宅生活を送られている利用者様・利用者様のご家族様に服薬の面でもサポートができたかと考えております。

内服管理に関してお困りの際は、ご利用時により良い方法を一緒に考えていけたらと思いますので、ぜひご相談ください。



私は、ホームページを見て、「家庭復帰」という言葉が目にとまりました。



清野彩さん

職場体験の前、「自分の行く職場について調べよう」という授業がありました。

感することがなかったので、将来に役立つだろうと思って体験をしました。私は、いつも同い年の人と話しているのを目上の方とお話できて、良かったです。将来は、年のはなれた人との交流が多いと思うので、この体験は、とても参考になりました。



清水友楽さん

職場体験をさせていただきありがとうございました。今まで、仕事の大切さをあまり実感していませんでした。

緊張していた私ですが、いこいの中にあふれる笑顔を通して、利用者の方とお話をしたり、絵を描いたり、笑顔で楽しむことができました。この体験は、これからの自分に生きていくものだと思います。



内山涼音さん

私は、職場体験の中で、たくさん学ぶことができました。どのような仕事

職場体験当日、職員の方々が私たちを温かく迎えてくださいました。利用者の方々は、笑顔で楽しそうに、家庭に戻ってこうなりたいなどの目標をたて、その目標にそってリハビリを行っていました。この職場は、笑顔であふれていて、私たちも自然と笑顔で過ごすことができました。この職場体験では、もっと自分から声をかければ良かったなどの反省点もありましたが、たくさん学ぶことができました。



寺島愛理さん

私が、この職場体験を通して学んだことは、笑顔です。私が利用者さんとお話をする時に笑顔で話すか、話さないかで、印象が大きく変わってきます。笑顔で話されると、自分も自然に笑顔になりますか？この体験を通して「笑顔は人の表情を明るくする。」ということを学びました。他にもたくさん学ぶことができました。私は一番「笑顔」が印象に残っています。この体験を通して学んだことを日常生活でも使っていこうと思います。

■ いこい通信 ■ 8月1日

依田窪南部中学校の職場体験の折に、生徒の皆さんと一緒に願い事や家族を思う言葉を書いた短冊は、試行錯誤しながらも丁寧に竹笹に飾り付けられました。飾り終えると、風に揺れる短冊の横で、歌を歌い、おやつをいただきました。皆さん、季節を感じながら、おいしそうにお饅頭を食べながら、幸せそうに顔をほころばせていました。

■ 依田窪南部中学校 「いこい」で職場体験 ■ 7月19日・20日・21日